

平成 28 年度

市政モニターアンケート集計結果

平成 29 年 2 月

八戸市 市民連携推進課

調査の概要

1 調査目的

第3次八戸市男女共同参画基本計画の進行管理のため、現状把握や必要な取組について調査を行い、計画の推進を図る。

2 対象者

市政モニター100人

3 調査期間

平成29年1月16日(月)～1月30日(月)

4 回収率

全体 98人 (98.0%) 男性 49人 (98.0%) 女性 49人 (98.0%)

1. 男女共同参画に関する意識

問 3～問 5

(1) 用語の認知度について

平成 26 年度調査に比べ、「DV」を除く全ての項目において、「知っている」又は「聞いたことがある」と答えた割合が上昇している。

	平成 28 年度	平成 26 年度	増減
①八戸市男女共同参画基本条例	82.4%	69.5%	12.9 増
②八戸市男女共同参画都市宣言	77.9%	65.7%	12.2 増
③八戸市男女共同参画基本計画	74.5%	59.0%	15.5 増
④男女共同参画週間	51.6%	41.7%	9.9 増
⑤男女共同参画社会	75.0%	68.1%	6.9 増
⑥ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）	73.6%	67.1%	6.5 増
⑦DV（ドメスティック・バイオレンス）	94.8%	94.8%	0
⑧男女共同参画情報誌「WITH YOU」	68.4%	59.4%	9.0 増

(2) 男女の分野別平等感について

平成 26 年度調査に比べ、「賃金や職場での待遇」において「男性の方が非常に優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と回答する割合が低下している。

一方、「就職の機会」、「町内会やボランティアなどでの役割」において「平等である」と答える割合が上昇している。

①「男性の方が非常に優遇されている」又は「どちらかといえば男性の方が優遇されている」という回答が多かった項目

- 1 位「社会全体」 80.6%（1.6 増）
- 2 位「賃金や職場での待遇」 79.6%（8.8 減）
- 3 位「社会通念・慣習・しきたりなど」 78.6%（5.7 増）

②「平等である」という回答が多かった項目

- 1 位「学校教育の場」 65.3%（1.4 減）
- 2 位「町内会やボランティアなどでの役割」 53.1%（7.3 増）
- 3 位「就職の機会」 24.5%（11.0 増）

(3) 固定的性別役割分担意識について

平成 26 年度調査に比べ、「男は仕事、女は家庭」という考え方に「同感しない」又は「どちらかといえば同感しない」と答えた割合が、57.3%で、2.6 ポイント上昇している。

2. 働くこと

問 6～問 9

(1) 女性の登用について

平成 26 年度調査に比べ、「登用の数値目標の設定や割当制の導入をするべき」と答えた割合が上昇している。

1 位 「適性や能力がある女性はどんどん登用していくべき」	77.3% (4.8 減)
2 位 「登用の数値目標の設定や割当制の導入をするべき」	14.4% (7.0 増)
3 位 「女性の登用は控えるべき」	3.1% (1.0 増)

(2) 指導的立場の女性を増やす為に必要なこと

平成 26 年度調査に比べ、「仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす」と答えた割合が低下し、一方、「女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる」と答えた割合が上昇している。

1 位 「仕事の役割分担や人事評価・昇進などにおいて男女差をなくす」	35.4% (10.3 減)
2 位 「女性も男性も自らが関心や積極性を持ち、意識改革を進める」	25.0% (0.5 増)
3 位 「女性の学習・研修・能力開発の機会を充実させる」	17.7% (11.3 増)

(3) 働きやすい環境をつくるために必要なこと

平成 26 年度調査に比べ、回答順位に変化はなく、また、どの項目も 10% 台であり、順位による差は小さい。

1 位 「子育てや介護のために仕事をやめた人も、職場復帰がしやすい制度をつくる」	18.2% (2.9 減)
2 位 「男性も女性も育児休業や介護休業などを取りやすくする」	17.5% (3.2 減)
3 位 「賃金、昇進などの待遇面における男女差をなくす」	11.9% (2.3 減)
3 位 「保育所、放課後児童クラブなどの数や場所を増やす」	11.9% (0.8 減)

(4) 男性が仕事以外の生活も重視した働き方を選択するために必要なこと【新設】

1 位 「育児・介護のための休暇を取得する」	27.6%
2 位 「育児・介護のための短時間勤務制度を活用する」	25.6%
3 位 「仕事と育児・介護を両立するため、仕事の負担を軽減してもらう」	19.1%

3. 家庭生活・地域活動

問 10～問 12

(1) 子育て・介護等について

平成 26 年度調査に比べ、「男性も女性も同じ程度行っている」と答えた割合が、「子育て（子どもの世話、しつけ）」において 30.7%と 12.1 ポイント、「家族の看護、介護、病人の世話」においては、23.3%と 6.6 ポイント上昇している。

(2) 地域活動について

①参加状況

平成 26 年度調査に比べ、「民生委員・市政協力委員など公的な活動」以外の全ての項目で「参加したことがある」又は「参加したい」と答えた割合が低下している。

	平成 28 年度	平成 26 年度	増減
①自治会・町内会の活動	80.5%	83.9%	3.4 減
②PTA や子ども会の活動	70.7%	73.3%	2.6 減
③民生委員・市政協力委員など公的な活動	67.7%	64.9%	2.8 増
④NPO（非営利団体）やボランティアの活動	74.3%	79.3%	5.0 減

②女性が地域活動のリーダーになるために必要なこと【新設】

- 1 位 「女性が地域活動のリーダーになることに対する男性の抵抗感をなくす」 25.0%
- 2 位 「女性が地域活動のリーダーになることに対する女性自身の抵抗感をなくす」 21.6%
- 3 位 「女性が地域活動のリーダーになることについて、啓発や情報提供・研修を行う」 21.2%

4. 異性からの暴力等

問 13

(1) 配偶者または親しい異性からの暴力について

平成 26 年度調査に比べ、暴力を受けた「経験がある」と答えた割合が 11.6%と 4.2 ポイント上昇している。

5. 性別に配慮した防災・災害対応・復興対策

問 14

(1) 性別に配慮した防災・災害対応・復興対策のために必要なこと【新設】

- 1 位 「更衣室やプライバシーの確保など、性別に配慮した避難所運営を行う」 18.0%
- 2 位 「避難所の設置・運営について、物事を決める際には男女を交えた話し合いをする」 17.7%
- 3 位 「災害時に対応できるよう、平常時から自治会・町内会の役員に女性を入れる、増やす」 14.7%

6. 少子化

問 15

(1) 出生率の低下や少子化へ対応するために必要なこと

平成 26 年度調査に比べ、上位回答に大きな変化はない。

1 位「出産や子育て中の経済的負担の軽減」	26.4% (0.1 減)
2 位「仕事と子育てが両立できる雇用環境の整備」	26.0% (2.7 減)
3 位「地域での子育てを応援する仕組みづくり」	15.6% (0.8 減)

7. 男女共同参画社会を実現するために

問 16

(1) 八戸市が力を入れるべきこと

平成 26 年度調査に比べ、上位回答について、大きな変化はなく、また、どの項目も 10% 台であり、順位による差は小さい。

1 位「男性の育児休業取得や短時間勤務、女性の管理職への登用などを会社や事業主に働きかける」	19.8% (1.5 減)
2 位「男女の雇用の機会や条件の差をなくすように、会社や事業主に働きかける」	17.9% (7.6 減)
3 位「子育てや介護を支援する施設・サービスを充実する」	15.5% (5.3 増)
4 位「学校や学習施設で、男女共同参画についての教育や学習を進める」	14.7% (3.6 増)
5 位「政策・方針決定過程の場で性別に偏りのない参画を進める」	13.5% (1.6 増)